

## 事業所職員自己評価(公表)

事業所名:くるーる2(児童発達)

対象職員 4名 ・ 回収 4名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点等
環境・体制設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○		
	②	職員の配置数は適切であるか。	○		個別対応している
	③	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。	○		個別活動、自由遊びの空間、トイレ等マークの表示など工夫している
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動する部屋は物が少なく集中しやすい環境である
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○		
	⑦	事業所向け自己評価及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価の実施を検討したい
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び、移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	⑬	児童発達支援計画書に沿った支援が行われているか。	○		毎月の会議で目標についての達成具合を共有し、次につなげている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		メインとサブの職員で毎回相談して提供
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか。		○	個別対応の方を支援しているので集団活動はほぼない 今後も個別対応に力を入れる

	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有しているか。	○		
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画書の見直しの必要性を判断しているか。	○		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス単層者会議にその子どもの状況に精通したもつともふさわしいものが参画しているか。	○		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の完成車や関係機関と連携した支援を行っているか。	○		歯科に関する検診や懇談会を開催
	㉒	移行支援として、保育所や幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		卒園児は必ず関係者間での共有会議に参加
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○		
	㉕	保育所や幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか。	○	○	利用児は保育園との併用をしているので、児発としてはとくに設けない
	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	○	今年度はこども部会はない
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートや送り迎えの際に話す
保護者への説明責任等	㉘	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の共通すべき支援」の狙い及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		面談やモニタリングを行う
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○		年2回保護者懇談会を開催
	㉜	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の大成を設備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動がいようや行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		事業所全体の会報は発行、児発のみではお便りを年に数回発行している 利用児の写真を親御さんに送ることもある
	㉞	個人情報の取り扱いに十分に注意しているか。	○		写真、作品、名前等の掲載については事前に承諾書をいただき、確認している
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		

	③⑥	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人主催のイベントを行い、啓もう活動を行う
非常時等の対応	③⑦	緊急対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職位にや保護者に周知するとともに、発声を想定した訓練を実施しているか。	△		マニュアルはあるが訓練等は実施できていない
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○		
	③⑨	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		アセスメントの際に確認している
	④⑩	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		
非常時等の対応	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止の研修や虐待防止チェックリストの実施など検討したい
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	現在の利用者で身体拘束にかかわる方がいないので検討したことはないが、今後の状況に応じ留意する